

# 第1表 学校給食実施状況

## (1) 総括表

平成19年5月1日現在

区 分		小学校	中学校	小中合計	夜間定時制高校	公立特殊教育諸学校	総合計
学校給食実施学校数(校)		854	383	1,237	19	30	1,286
在籍児童生徒数(人)		332,846	150,865	483,711	2,212	4,330	490,650
完全給食	学校数(校)	854	376	1,230	19	30	1,279
	実施児童生徒数(人)	332,774	148,559	481,333	2,101	4,104	487,538
	実施率(%)	100.0	98.5	99.5	95.0	94.8	99.4
ミルク給食	学校数(校)	0	7	7	0	0	7
	実施児童生徒数(人)	0	2,223	2,223	0	0	2,223
	実施率(%)	0	1.5	0.5	0	0	0.5
調理法式別内訳	単独調理場(校)	422	132	554	19	30	603
	共同調理場(校)	432	244	676	0	0	676
	親子方式(校)	2	16	18	0	0	18
	デリバリー方式(校)	0	0	0	6	0	6

(注)

- 1 休校は学校総数から除く。
- 2 実施数は、5月1日現在実際給食を受けている人数。(食物アレルギー等で受けていない人数は含まない。)
- 3 松戸南高等学校及び生浜高等学校の午前・午後部の在籍者数を除く。
- 4 中学校夜間学級、は在籍児童生徒数から除く。
- 5 四街道・仁戸名養護学校は、病院給食のため対象から除く。
- 6 流山高等学園は、給食未実施のため対象から除く。
- 7 夜間定時制高等学校の実施数は生徒の申し出による人数。
- 8 親子方式校は、単独調理場校の小中学校数に含む。また、親校から給食を受けている子の学校数である。
- 9 デリバリー方式校は、単独調理場の夜間定時制高等学校に含む。
- 10 学校給食実施率は、実施児童生徒数を在籍児童生徒数で除したもの。
- 11 補食給食実施校は、ない。

## (2) 公立小・中学校給食実施状況全国との比較

平成19年5月1日現在

区 分			完全給食	補食給食	ミルク給食	計	
小 学 校	学校数による割合	15年度	千葉県	99.8	0	0.2	100
			全 国	95.7	0.5	1.2	97.4
		16年度	千葉県	99.8	0	0.2	100
			全 国	95.8	0.5	1.1	97.4
		17年度	千葉県	100	0	0	100
			全 国	97.7	0.5	1.1	99.2
	18年度	千葉県	100	0	0	100	
		全 国	98.3	0.5	0.9	99.7	
	19年度	千葉県	100	0	0	100	
	児童数による割合	15年度	千葉県	99.9	0	0.1	100
			全 国	98.7	0.3	0.4	99.4
		16年度	千葉県	99.9	0	0.1	100
			全 国	98.7	0.4	0.4	99.4
		17年度	千葉県	100	0	0	100
			全 国	98.7	0.3	0.4	99.3
	18年度	千葉県	100	0	0	100	
		全 国	99.4	0.2	0.3	99.9	
	19年度	千葉県	100	0	0	100	
中 学 校	学校数による割合	15年度	千葉県	97.1	0	2.9	100
			全 国	72.7	0.5	11.7	84.9
		16年度	千葉県	97.1	0	2.9	100
			全 国	73.5	0.6	10.8	84.9
		17年度	千葉県	97.4	0	2.6	100
			全 国	74.4	0.6	10.6	85.6
	18年度	千葉県	98.4	0	1.6	100	
		全 国	79.9	0.6	10.3	90.8	
	19年度	千葉県	98.2	0	1.8	100	
	生徒数による割合	15年度	千葉県	97.9	0	2.1	100
			全 国	69.0	0.4	13.1	82.5
		16年度	千葉県	97.9	0	2.1	100
			全 国	70.0	0.4	12.0	82.4
		17年度	千葉県	98.0	0	2.0	100
			全 国	70.1	0.4	11.6	82.2
	18年度	千葉県	98.5	0	1.5	100	
		全 国	74.8	0.4	10.7	86.0	
	19年度	千葉県	98.5	0	1.5	100	

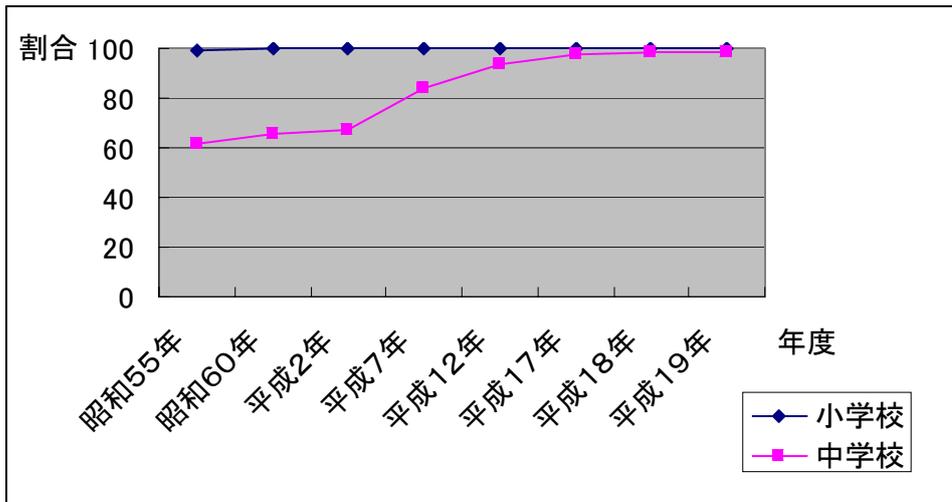
(注)

(単位：%)

平成19年度の全国の調査結果は、作成日現在公表されていない。

(3) 完全給食実施状況年次推移

平成19年5月1日現在



(4) 調理方式別完全給食実施状況

平成19年5月1日現在

	調理施設数	学校数	
		小学校	中学校
単独調理場 (親子調理場方式を含む)	<b>579施設</b>	小学校	422校 (2校)
		中学校	132校 (16校)
		市・県立特別支援	30校
		県立夜間定時制高等学校	19校 (6校)
共同調理場	<b>94施設</b>	小学校	432校
		中学校	244校
調理場数 計	<b>673施設</b>	学校数 計	1,279校

(注)

- 1 対象は、完全給食を実施している公立小学校・中学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校である。
- 2 県立夜間定時制高等学校の ( ) 内は、内数でデリバリー方式による学校数をあらわす。
- 3 単独調理場の小・中学校の ( ) 内は、内数で、親校から給食を受けている子校の学校数である。

(5) 調理方式別完全給食実施状況年次推移(公立小・中学校)

平成19年5月1日現在

調理方式	単独調理場				共同調理場				合 計			
	平成18年		平成19年		平成18年		平成19年		平成18年		平成19年	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
小学校	423	49.5	422	49.4	431	50.5	432	50.6	854	100	854	100
中学校	132	35.1	132	35.1	244	64.9	244	64.9	376	100	376	100
合 計	555	45.1	554	45.0	675	54.9	676	55.0	1,230	100	1,230	100

(6) 調理方式別完全給食実施状況全国との比較

平成19年5月1日現在

区 分		小 学 校		中 学 校		計	
		単 独 調理場方式	共 同 調理場方式	単 独 調理場方式	共 同 調理場方式	単 独 調理場方式	共 同 調理場方式
平成15年度	千葉県	49.5	50.5	34.8	65.2	45.0	55.0
	全 国	49.2	50.8	33.5	66.5	45.0	55.0
平成16年度	千葉県	49.6	50.4	34.9	65.1	45.1	54.9
	全 国	49.5	50.5	34.4	65.6	45.5	54.5
平成17年度	千葉県	49.4	50.6	34.9	65.1	45.0	55.0
	全 国	49.4	50.6	34.7	65.3	45.4	54.6
平成18年度	千葉県	49.5	50.5	35.1	64.9	45.1	54.9
	全 国	49.1	50.6	29.8	65.1	43.8	54.6
平成19年度	千葉県	49.4	50.6	35.1	64.9	45.0	55.0

(単位：%)

(注) 全国の調査には「単独調理場方式」「共同調理場方式」のほかに「その他の調理場方式」があるため、合計が100%にならない。(千葉県の小中学校には「その他の調理場方式」はない。)

## 第2表 米飯給食実施状況

### (1) 総括表

平成19年5月1日現在

	学校給食 実施校数	完全給食 実施校数	完全給食実施校のうち米飯給食実施見込数							
			1回	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	5回	計
小学	854	854	0	0	56	621	82	86	9	854
中学	383	376	0	0	19	230	35	43	49	376
県立夜間定時制高校	19	19	0	0	0	0	0	8	11	19
公立特別支援学校	30	30	0	0	0	14	10	6	0	30
合計	1,286	1,279	0	0	75	865	127	143	69	1,279
週平均実施回数(実施率)		3.2	0.0%	0.0%	5.9%	67.6%	9.9%	11.2%	5.4%	100.0%

(注) 学校数ベースでも児童生徒数ベースでも少数第2位を四捨五入すると3.2となる。

### (2) 米飯給食回数別実施状況 年次比較(学校数)

区分	千葉県		(参考) 全国平均
	平成18年度	平成19年度	平成18年度
週5回	65(5.1%)	69(5.4%)	1,312(4.2%)
週4回	146(11.4%)	143(11.2%)	3,267(10.4%)
週3.5回	101(7.9%)	127(9.9%)	1,655(5.3%)
週3回	825(64.6%)	865(67.6%)	18,931(60.3%)
週2.5回	138(10.8%)	75(5.9%)	3,851(12.3%)
週2回	3(0.2%)	0(0.0%)	2,312(7.3%)
週1回	0(0.0%)	0(0.0%)	28(0.1%)
月3回	0(0.0%)	0(0.0%)	2(0.0%)
月2回	0(0.0%)	0(0.0%)	1(0.0%)
月1回	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
その他	0(0.0%)	0(0.0%)	27(0.1%)
週当たり 平均実施回数	3.2	3.2	2.9

(3) 米飯給食回数別実施状況年次比較(児童生徒数)

平成19年5月1日現在

区 分	千 葉 県		(参)全国平均
	平成18年度	平成19年度	平成18年度
週5回	26,141 (5.4%)	26,911 (5.4%)	182,327 (1.9%)
週4回	41,572 (8.5%)	40,560 (11.2%)	619,964 (6.4%)
週3.5回	38,256 (7.9%)	52,740 (9.9%)	474,366 (4.9%)
週3回	318,510 (65.4%)	337,781 (67.6%)	5,854,075 (60.2%)
週2.5回	61,526 (12.6)	29,546 (5.9%)	1,617,004 (16.6%)
週2回	1,007 (0.2)	0 (0.0%)	955,725 (9.8%)
週1回	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6,818 (0.1%)
月3回	0 (0.0%)	0 (0.0%)	695 (0.0%)
月2回	0 (0.0%)	0 (0.0%)	518 (0.0%)
月1回	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8,076 (0.1%)

(注)1 調査対象は、完全給食を実施している公立小学校・中学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校である。

2 作成日現在平成19年度全国版は、公表されていない。

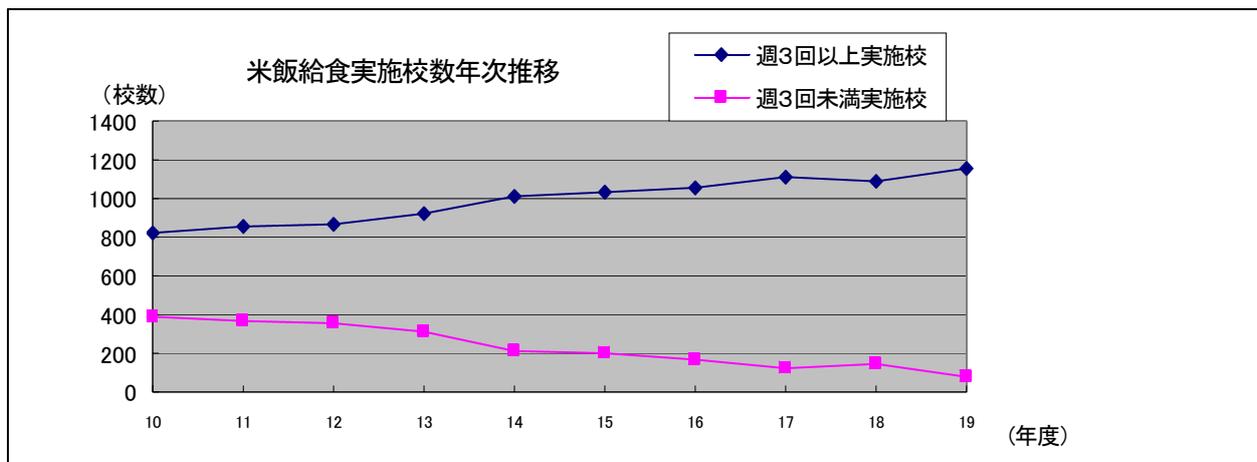
(4) 米飯給食3回以上・未満別実施状況年次推移(小・中学校)

平成19年5月1日現在

区 分	小 学 校						
	週3回以上実施校		週3回未満実施校		炊飯形態別学校数		
	学校数	児童数	学校数	児童数	自校	委託	併用
平成10年度	574	210,114	282	131,745	258	462	279
平成11年度	592	211,296	266	123,692	271	455	132
平成12年度	603	212,886	255	116,785	336	522	0
平成13年度	593	206,905	265	120,626	336	522	0
平成14年度	689	253,326	177	84,583	325	558	0
平成15年度	694	253,305	163	76,078	362	495	0
平成16年度	716	263,593	141	66,077	369	488	0
平成17年度	757	287,901	100	43,996	367	490	0
平成18年度	743	282,132	111	51,163	355	499	0
平成19年度	798	310,624	56	22,150	358	496	0

区 分	中 学 校						
	週 3 回以上実施校		週 3 回未満実施校		炊飯形態別学校数		
	学校数	児童数	学校数	児童数	自校	委託	併用
平成 1 0 年度	2 4 3	115,107	1 0 5	52,624	1 1 7	2 0 2	9 4
平成 1 1 年度	2 6 1	119,867	9 9	47,948	1 3 1	1 9 9	3 0
平成 1 2 年度	2 6 9	119,792	9 7	44,162	1 5 8	2 0 8	0
平成 1 3 年度	3 2 7	140,809	4 2	20,104	1 6 4	2 0 5	0
平成 1 4 年度	3 2 4	135,433	3 9	17,549	1 5 2	2 1 8	0
平成 1 5 年度	3 4 0	138,651	3 4	14,427	1 7 4	2 0 0	0
平成 1 6 年度	3 4 5	137,370	2 8	11,710	1 7 2	2 0 1	0
平成 1 7 年度	3 5 0	138,769	2 2	8,653	1 7 1	2 0 1	0
平成 1 8 年度	3 4 6	136,046	3 0	11,370	1 7 3	2 0 3	0
平成 1 9 年度	3 5 7	141,163	1 9	7,396	1 6 7	2 0 9	0

区 分	計						
	週 3 回以上実施校		週 3 回未満実施校		炊飯形態別学校数		
	学校数	児童数	学校数	児童数	自校	委託	併用
平成 1 0 年度	8 1 7	325,221	3 8 7	184,369	3 7 5	6 6 4	3 7 3
平成 1 1 年度	8 5 3	331,163	3 6 5	171,640	4 0 2	6 5 4	1 6 2
平成 1 2 年度	8 7 2	332,678	3 5 2	160,947	4 9 4	7 3 0	0
平成 1 3 年度	9 2 0	347,714	3 0 7	140,730	5 0 0	7 2 7	0
平成 1 4 年度	1 , 0 1 3	388,759	2 1 6	102,132	4 7 7	7 7 6	0
平成 1 5 年度	1 , 0 3 4	391,956	1 9 7	90,505	5 3 6	6 9 5	0
平成 1 6 年度	1 , 0 6 1	400,963	1 6 9	77,787	5 4 1	6 8 9	0
平成 1 7 年度	1 , 1 0 7	426,670	1 2 2	52,649	5 3 8	6 9 1	0
平成 1 8 年度	1 , 0 8 9	418,178	1 4 1	62,533	5 2 8	7 0 2	0
平成 1 9 年度	1 , 1 5 5	451,787	7 5	29,546	5 2 5	7 0 5	0



### 第3表 学校給食費状況

#### (1) 総括表

平成19年5月1日現在

区 分		平均月額(円)			平均単価(円)		
		17年度	18年度	19年度	17年度	18年度	19年度
公立	小学校(低)	4,100	4,092	4,075	238	237	237
	前年度比(%)	100.1	99.8	99.6	99.7	99.6	100.0
小	小学校(中)	4,122	4,165	4,145	239	241	241
	前年度比(%)	100.1	101.0	99.5	99.7	100.8	100.0
中	小学校(高)	4,132	4,211	4,189	240	244	245
	前年度比(%)	100.1	101.9	99.5	99.7	101.7	100.4
学	中学校	4,724	4,841	4,810	275	282	284
	前年度比(%)	100.2	102.5	99.4	99.6	102.5	100.7
公立	幼稚部	4,237	4,196	4,480	280	280	280
	前年度比(%)	98.7	99.0	106.8	100.0	100.0	100.0
特別	小学部	5,053	5,106	5,116	297	298	298
	前年度比(%)	100.9	101.1	100.2	100.0	100.3	100.0
支	中学部	5,903	5,953	5,992	347	348	351
	前年度比(%)	101.0	100.5	100.7	100.2	100.1	100.9
援	高等部	5,873	5,918	5,952	347	348	348
	前年度比(%)	100.9	100.8	100.6	100.2	100.1	100.0
学	校						
	県立	定時制高等学校	4,910	4,942	4,992	290	292
高校	前年度比(%)	100.6	100.6	101.0	99.5	100.5	101.0

(注) 1 1食あたりの平均単価は、平均月額×11(11ヶ月)÷年間予定回数により算出している。

2 特別支援学校は、完全給食実施校(30校)の数値である。

3 県立定時制高等学校は、完全給食実施校(19校)の数値である。

4 県立定時制高等学校の平均単価は、補助金を含んだ数値である。

#### (2) 平成19年度学校給食費 最低・最高月額

平成19年5月1日現在

区 分	最低月額(円)	最高月額(円)
小学校(低)	3,400	4,885
小学校(中)	3,600	4,885
小学校(高)	3,600	4,885
中学校	4,100	5,731
幼稚部	3,640	5,088
小学部	4,435	5,735
中学部	5,718	6,650
高等部	5,382	6,660
定時制高等学校	4,373	5,600

## 第4表 栄養教諭・学校栄養職員配置状況

### (1) 総括表

平成19年5月1日現在

	年度	単独調理場		共同調理場	教育委員会	公立特別支援学校	夜間定時制高等学校	計
		小学校	中学校					
県費	18	231	58	151	1	30	18	489
負担職員	19	220	62	147	1	30	18	478
市町村費	18	205	59	14	23	0	0	301
負担職員	19	200	54	14	27	0	0	295
計	18	436	117	165	24	30	18	790
	19	420	116	161	28	30	18	773

- (注) 1 調査対象は、常勤の栄養教諭・学校栄養職員である。  
 2 栄養教諭10名を含む。(小学校6名、中学校1名、県立特別支援学校2名、共同調理場1名で、いずれも県費負担である。)  
 2 千葉県学校給食会の栄養職員1名は除く。  
 3 平成18年度の調査は、「臨職」「嘱託」でもフルタイムで勤務している者は「常勤」としていたが、平成19年度の調査は、この規定がなくなったため人数が減っている。

### (2) 栄養教諭・学校栄養職員学校規模別配置状況(単独調理場)

平成19年5月1日現在

区分	児童生徒数	199人以下	200人～399人	400人～599人	600人～799人	800人～999人	1,000人～1,199人	1,200人～1,399人	1,400人～1,599人	計
		配置人員	49	110 (2)	111 (2)	94 (1)	47 (1)	7	2	
小学校	学校数	51	111	110	94	47	7	2		422
	1校あたり平均人数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
中学校	配置人員	7	39 (1)	34	29	6	1			116 (1)
	学校数	12	44	39	30	6	1			132
	1校あたり平均人数	0.6	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0			0.9

- (注) 1 ( ) の数は、栄養教諭の数で内数である。  
 2 親子給食の場合は、「学校数」欄においては、それぞれを1校として記入し、「配置人員」欄には、小学校の欄に記入している。

(3) 栄養教諭・学校栄養職員学校規模別配置状況(共同調理場)

平成19年5月1日現在

区分	児童・生徒数 500人以下	501人 ～ 1,000人	1,001人 ～ 1,500人	1,501人 ～ 2,000人	2,001人 ～ 2,500人	2,501人 ～ 3,000人	3,001人 ～ 4,000人
配置人員	12 (1)	23	17	15	12	16	22
共同調理場数	12	20	13	7	6	7	10

区分	4,001人 ～ 5,000人	5,001人 ～ 7,000人	7,001人 ～ 10,000人	10,001人 ～ 20,000人	計
配置人員	18	18	8	0	161 (1)
共同調理場数	8	8	3	0	94

(注) ( ) の数は、栄養教諭の数で内数である。

(4) 栄養教諭・学校栄養職員配置状況年次推移

平成19年5月1日現在

年度	公立 小学校 (人)	公立 中学校 (人)	共同 調理場 (人)	年度	公立 小学校 (人)	公立 中学校 (人)	共同 調理場 (人)
昭和56	356	23	122	平成7	417	71	150
昭和57	367	24	124	平成8	417	78	151
昭和58	375	23	128	平成9	419	84	151
昭和59	372	24	128	平成10	422	88	147
昭和60	376	24	130	平成11	422	101	146
昭和61	376	23	132	平成12	422	108	149
昭和62	373	24	135	平成13	422	111	148
昭和63	372	25	137	平成14	420	114	151
平成元	383	24	137	平成15	421	116	151
平成2	388	25	141	平成16	422	118	150
平成3	397	28	143	平成17	419	118	153
平成4	400	33	142	平成18	436(4)	117	165
平成5	414	40	147	平成19	420(6)	116(1)	161(1)
平成6	416	58	148				

(注) ( ) 内は、栄養教諭の数で内数である。

## 第5表 学校給食調理員配置状況

### (1) 総括表

区 分	常 勤		非常勤		計	
	任 用	派 遣	任 用	派 遣	任 用	派 遣
小学校	678	437	854	743	1,532	1,180
┃うち調理師免許取得者	437	334	226	80	663	414
中学校	53	278	37	640	90	918
┃うち調理師免許取得者	44	186	5	89	49	275
共同調理場	393	270	540	348	933	618
┃うち調理師免許取得者	315	192	180	58	495	250
公立特別支援学校	73	0	58	0	131	0
┃うち調理師免許取得者	53	0	19	0	72	0
県立夜間定時制高等学校	26	0	11	0	37	0
┃うち調理師免許取得者	21	0	4	0	25	0
合計	1,223	985	1,500	1,731	2,723	2,716
┃うち調理師免許取得者	870	712	434	227	1,304	939

### (2) 学校給食調理員規模別配置状況(単独調理場)

平成19年5月1日現在

区 分	児童生徒数	100人	101人	301人	501人	701人	901人	1,101人	1,301人	計
		以下	～ 300人	～ 500人	～ 700人	～ 900人	～ 1,100人	～ 1,300人	～ 1,500人	
小学校	配置人員	21	247	340	405	394	106	0	19	1,532
	学校数	13	91	129	97	68	21	1	2	422
	1校あたり 平均人数(県)	1.6	2.7	2.6	4.2	5.8	5.0	0	9.5	3.6
中学校	配置人員	6	4	34	31	15	0	0	0	90
	学校数	4	21	50	40	14	3	0	0	132
	1校あたり 平均人数(県)	1.5	0.20	0.7	0.8	1.1	0	0	0	0.7
公立特別 支援学校	配置人員	17	105	9	0	0	0	0	0	131
	学校数	5	24	1	0	0	0	0	0	30
	1校あたり 平均人数(県)	3.4	4.4	9.0	0	0	0	0	0	4.4
県立夜間 定時制高 等学校	配置人員	16	21	0	0	0	0	0	0	37
	学校数	6	7	0	0	0	0	0	0	13
	1校あたり 平均人数(県)	2.7	3.0	0	0	0	0	0	0	2.8

(注) 1 派遣調理員は含まない。

2 親子給食の場合は、「学校数」欄においては、それぞれを1校として記入し、「配置人員」欄には、小学校の欄に記入している。

1 デリバリー方式実施校は含まない。

(3) 学校給食調理員規模別配置状況(共同調理場)

平成19年5月1日現在

区 分	児童生徒数	501人	1,001人	1,501人	2,001人	2,501人	3,001人	4,001人	5,001人	7,001人	10,001人	計
	500人以下	～ 1,000人	～ 1,500人	～ 2,000人	～ 2,500人	～ 3,000人	～ 4,000人	～ 5,000人	～ 7,000人	～ 10,000人	～ 20,000人	
配置人員	31	127	109	29	38	132	195	110	87	75	0	933
調理場数	12	20	13	7	6	7	10	8	8	3	0	94
1場あたり 平均人数	2.6	6.4	8.4	4.1	6.3	18.9	19.5	13.8	10.9	25.0	0	9.9

(注) デリバリー方式実施校は含まない。

(4) 学校給食調理員配置状況年次推移

平成19年5月1日現在

区 分	小 学 校 (単独調理場)											
	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	
常勤職員(人)	1,380	1,293	1,226	1,132	1,043	984	909	867	841	762	678	
非常勤職員(人)	344	385	481	555	635	706	722	762	772	844	854	
合計(人)	1,724	1,678	1,707	1,687	1,678	1,690	1,631	1,629	1,613	1,606	1,532	
非常勤職員の割合	20.0	29.8	28.2	32.9	37.8	41.8	44.3	46.8	47.9	52.6	55.7	
区 分	中 学 校 (単独調理場)											
	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	
常勤職員(人)	115	116	116	108	93	74	66	61	63	56	53	
非常勤職員(人)	88	83	79	87	87	63	32	27	32	38	37	
合計(人)	203	199	195	195	180	137	98	88	95	94	90	
非常勤職員の割合	43.3	41.7	40.5	44.6	48.3	46.0	32.7	30.7	33.7	40.4	41.1	
区 分	共 同 調 理 場											
	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	
常勤職員(人)	902	808	753	736	658	622	605	513	447	438	525	
非常勤職員(人)	611	632	677	692	697	721	672	627	550	546	408	
合計(人)	1,513	1,440	1,430	1,428	1,355	1,343	1,277	1,140	997	984	933	
非常勤職員の割合	40.4	43.9	47.3	48.5	51.4	53.7	52.6	55.0	55.2	55.5	43.7	

(割合は、%)

(注) 派遣調理員数は含まない。

第6表 学校給食業務外部委託状況

平成19年5月1日現在

区 分	単 独 調 理 場				共 同 調 理 場	
	小学校数	中学校数	特別支援 学校数	夜間定時制 高等学校数	調理場数	学校数
調理業務	146	106	0	0	37	288
運搬	27	15	0	0	78	585
物資購入管理	0	0	0	0	1	16
食器洗淨	146	110	0	0	34	272
ボイラー管理	0	0	0	0	32	340
その他の業務	37	31	0	0	16	125

(注)

- 1 調査対象は、完全給食又は補食給食を実施しており、かつ学校給食業務の外部委託を行っている公立学校とする。ただし、炊飯委託は除く。
- 2 共同調理場の「学校数」は、小・中学校の数である。
- 3 デリバリー方式による学校は、含まない。

## 第7表 千葉県調査

(1) 平成18・19年度生野菜使用状況

平成19年5月1日現在

		平成18年度に生野菜を使用した学校・調理場数			18年度未使用数	19年度使用予定数
		特に制限なく使用	ミニトマト程度	特定野菜を未使用		
市立小・中学校	単独調理場	154	188	1	212	235
	割合(%)	27.7	33.9	0.2	38.2	42.4
	共同調理場	4	45	0	45	36
	割合(%)	4.2	47.9	0	47.9	38.3
公立特別支援		3	21	1	5	16
割合(%)		10.0	70.0	0.3	1.67	53.3
夜間定時制高校		10	7	1	0	15
割合(%)		55.6	38.8	5.6	0.0	78.9

- (注) 1 調査対象は、完全給食を実施している市立小学校・中学校・特別支援学校、  
 県立特別支援学校・夜間定時制高校である。  
 2 公立特別支援学校及び県立夜間定時制高校は、すべて単独調理場である。  
 ただし、18年度には、2校がデリバリー方式である。  
 3 親子給食実施校は、それぞれを1校として計上した。

(2) 遺伝子組み換え食品への対応

平成19年5月1日現在

	使用していない	使用しないよう努めている	特に対応していない
単独調理場	46	493	15
割合(%)	8.3	89.0	2.7
共同調理場	30	55	9
割合(%)	31.9	58.5	9.6
公立特別支援	4	25	1
割合(%)	13.3	83.4	3.3
夜間定時制高校	3	14	2
割合(%)	15.8	73.7	10.5

- (注) 1 調査対象は、完全給食を実施している市立小学校・中学校・特別支援学校、  
 県立特別支援学校・夜間定時制高校である。  
 2 公立特別支援学校及び県立夜間定時制高等学校は、すべて単独調理場である。  
 ただし、19年度には、6校がデリバリー方式である。  
 3 親子給食実施校は、それぞれを1校として計上した。

(3) 食物アレルギーへの対応

平成19年5月1日現在

			除去食 で対応	代替食 で対応	弁当を 持参	自主判 断	特に対 応なし	該当者 なし	その他
市立 小中 学校	単独調理場	学校数	367	154	165	253	8	21	76
		割合 (%)	66.3	27.8	29.8	45.7	1.4	3.8	13.7
	共同調理場	施設数	21	12	22	65	12	9	21
		割合 (%)	22.3	12.8	23.4	69.1	12.8	9.6	22.3
公立特別支援学校		学校数	21	8	4	24	3	3	2
		割合 (%)	70.0	26.7	13.3	80.0	10.0	10.0	6.7
県立夜間定時制高校		学校数	4	2	0	7	4	4	1
		割合 (%)	21.1	10.5	0.0	36.8	21.1	21.1	5.3

- (注) 1 調査対象は、完全給食を実施している市立小学校・中学校・特別支援学校、県立特別支援学校・夜間定時制高校  
 2 重複回答のため、合計が100%にならない。  
 3 親子給食実施校は、それぞれを1校として計上した。

(4) 残渣の処理方法について

平成19年5月1日現在

			生ゴミ処理機	ゴミ回収業者	養豚業者	その他
市立 小中 学校	単独調理場	学校数	65	509	1	15
		割合 (%)	11.7	91.9	0.2	2.7
	共同調理場	施設数	5	66	9	17
		割合 (%)	5.3	70.2	9.6	18.1
公立特別支援学校		学校数	17	9	3	1
		割合 (%)	56.7	30.0	10.0	3.3
県立夜間定時制高校		学校数	0	15	1	3
		割合 (%)	0.0	78.9	5.3	15.8

- (注) 1 調査対象は、完全給食を実施している市立小学校・中学校・特別支援学校、県立特別支援学校・夜間定時制高校  
 2 重複回答のため、合計が100%にならない。  
 3 親子給食実施校は、それぞれを1校として計上した。

## (5) 特色ある学校給食活動(公立小・中学校)

平成19年5月1日現在

			小学校数	中学校数	合計
学校内における活動	交流給食	学年内	94 (11.0%)	9 (2.4%)	103 (8.4%)
		異学年	385 (45.1%)	11 (2.9%)	396 (32.2%)
		全校	228 (26.7%)	17 (4.5%)	245 (19.9%)
		行事給食	286 (33.5%)	97 (25.8%)	383 (31.1%)
		招待給食	151 (17.7%)	10 (2.7%)	161 (13.1%)
		選択給食	239 (28.0%)	98 (26.1%)	337 (27.4%)
	家庭地域の連携		親子給食	104 (12.2%)	2 (0.5%)
		招待給食	151 (17.7%)	17 (4.5%)	168 (13.7%)
		試食会	511 (59.8%)	132 (35.1%)	643 (52.3%)
		選択給食	10 (1.2%)	28 (7.4%)	38 (3.1%)

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施している小・中学校である。
- 2 重複回答可である。
- 3 「選択給食」とは、複数のメニューの中から献立あるいは量を選択できる給食のことである。
- 4 「親子給食」とは、児童生徒と保護者が食事をともにする給食のことである。
- 5 「招待給食」のうち、学校の教職員や調理場関係者を招待する場合は、「学校内における活動」に区分し、地域住民（保護者を除く）等を招待する場合は、「家庭・地域との連携を図る活動」に区分する。

## (6) 使用食器の材質調査(小・中学校)

平成19年5月1日現在

材 質	小学校数	割 合 (%)	中学校数	割 合 (%)
アルマイト	64	7.5	12	3.2
ステンレス	48	5.6	22	5.9
メラミン	42	4.9	14	3.7
ポリプロピレン	465	54.4	199	52.9
ポリカーボネート	26	3.0	8	2.1
ポリエチレン	8	0.9	1	0.3
ガラス	0	0.0	0	0.0
強化耐熱ガラス	0	0.0	0	0.0
陶磁器	13	1.5	6	1.6
強化磁器	228	26.7	114	30.3
木	0	0.0	0	0.0
PEN樹脂	88	10.3	40	10.6
その他 (アニーマート等)	61	7.1	28	7.4

- (注) 1 調査対象は、完全給食を実施している市立小学校・中学校である。  
 2 重複回答可である。  
 3 盆は含まず、パレット皿を含めて調査をしている。

(7) 児童生徒の朝食欠食状況(小・中学校)

		必ず毎日食べる	1週間に1～3日食べないことがある	1週間に4～5日食べないことがある	ほとんど食べない
小学校	1年	90.7%	6.9%	1.3%	1.1%
	2年	91.3%	6.4%	1.0%	1.3%
	3年	91.5%	6.1%	1.1%	1.3%
	4年	91.1%	6.4%	1.2%	1.3%
	5年	89.3%	7.8%	1.5%	1.4%
	6年	87.9%	8.6%	1.8%	1.7%
中学校	1年	85.0%	9.7%	2.5%	2.8%
	2年	82.2%	10.8%	3.1%	3.9%
	3年	80.3%	12.0%	3.3%	4.4%
合計		87.9%	8.2%	1.8%	2.1%

(注)

- 1 調査は、平成19年10月、11月の各学校の調査日現在である。
- 2 結果は、回答のあった児童生徒の総数で除した割合であり、在籍総数で除した割合ではない。
- 3 千葉県食育推進計画の目標値は、「1週間に4～5日食べないことがある」「ほとんど食べない」の割合を対象にしている。

(8) 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」の活用状況

(小学校・公立特別支援学校小学部)

平成19年5月1日現在

	学校総数	授業で1度でも活用したことがある学校数	授業以外で1度でも活用したことがある学校数	課題や宿題で1度でも活用したことがある学校数
小学校	854校	738校	429校	249校
活用率	100%	86.4%	50.2%	29.2%
公立特別支援学校	29校	10校	6校	1校
活用率	100%	34.5%	20.7%	3.4%
合計	883校	748校	435校	250校
活用率	100%	84.7%	49.3%	28.3%

(注)

- 1 平成18年度活用状況(平成19年5月1日現在調べ)
- 2 重複回答可である。
- 3 授業以外とは、「給食時の指導」「保護者会」等での学校で活用のことである。
- 4 課題、宿題は、長期休業中を含む。
- 5 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」は、県内の全小学生に配布してある。
- 6 公立特別支援学校は、小学部のみ対象である。(千葉市立の特別支援学校は2校あるが、小学部があるのは1校だけである。)

(9) 食に関する指導実施状況

平成19年5月1日現在

	担任と栄養教諭又は学校栄養職員とのTTで授業を実施	学校栄養職員が特別非常勤講師として授業を実施	地域の食の専門家の協力を得て授業を実施
小学校	69.9%	28.3%	25.6%
中学校	30.0%	16.7%	14.4%
公立特別支援学校	3.7%	36.7%	0.0%
県立夜間定時制高校	0.5%	15.8%	5.3%
合計	57.4%	24.9%	21.4%

	地場産の食材を活用した授業の実施	地域に昔から伝わる料理や季節・行事にちなんだ料理を活用した授業の実施	生活科・家庭科以外で体験活動を伴う授業の実施	保護者が参加した食に関する授業の実施
小学校	49.8%	29.7%	56.8%	46.8%
中学校	25.8%	23.0%	21.4%	19.8%
公立特別支援学校	3.3%	0.0%	10.0%	10.0%
県立夜間定時制高校	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	40.8%	26.6%	44.3%	37.2%

- (注)
- 1 学校数ベースで割合を算出している。
  - 2 重複回答可である。
  - 3 地域の食の専門家とは、生産者や料理、栄養等に精通した人のことである。
  - 4 体験活動とは、農作物の栽培、食品の加工、調理等をさす。

(10) 食に関する指導推進のための体制作り状況

平成19年5月1日現在

	「食に関する指導全体計画」を作成してある	「食に関する指導年間計画」を作成してある	近隣の学校や地域の保健センター、公民館等との食に関する連絡協議会等がある
小学校	46.4%	48.9%	21.1%
中学校	25.3%	37.3%	5.5%
公立特別支援学校	53.3%	53.3%	6.7%
県立夜間定時制高校	5.3%	42.1%	0.0%
合計	39.7%	45.5%	15.8%

- (注) 1 学校数ベースで割合を算出している。  
2 重複回答可である。

(11) 学校農園等の設置状況

平成19年5月1日現在

(単位：%)	学校農園が学校内に設置されている						学校農園が学校外に設置されている					
	畑			水田			畑			水田		
	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上
小学校	40.2	16.2	10.0	13.2	0.8	0.7	4.3	7.3	9.4	2.8	3.4	8.0
中学校	18.6	2.1	0.8	1.3	0.0	0.5	2.1	0.3	2.1	1.0	0.0	0.8
公立特別支援学校	16.7	10.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	43.3	0.0	0.0	3.3
合計	33.1	11.8	7.3	9.3	0.6	0.6	3.6	5.1	8.0	2.2	2.3	5.7

- (注) 1 重複回答可である。  
2 バケツ稲は除く。  
3 借り上げている場合も含む。